

東京七座会

平成27年春号 (No.12)

色とりどりのさつきやつつじが咲き競う季節になりましたが、会員の皆様にはお変わりなくお健やかに暮らしのことと存じます。

平成26年のふるさと会は、第26回東京七座会が6月29日に『上野CueStudio(キュースタジオ)』で、22名の出席で開催しました。上京中の仲村あけみさん(44年組)が出席してくれました。

また第27回東京鷹集会が10月12日に、会場を10年以上も使用した九段下『ホテルグランドパレス』から霞ヶ関ビル『東海大学校友会館』に変更開催されました。会員111名と来賓29名の参加があり、当会からは13名の出席でした。簾内キミ工さん(31年組)の孫娘の松谷菊加さんにも参加して頂きました。また、市役所からはふるさと会担当で前山横町出身の戸澤元継さんが出席しました。

当日の総会で役員の変更が行われました。主な人事は以下の通りとなります。

会長 成田秀志(綴子会)留任 幹事長 熊谷忠憲(七座会)新任 会計幹事 奈良田和明(綴子会)新任
 ※会員の動向については、以下の退会者により120名(他に下記住所不明11名)の会員数となっております。

退会者

成田 兼雄(死亡) 原田 ミナ(都合)
 熊谷 信義(死亡) 小笠原哲雄(死亡)
 仲村 和夫(死亡) 岡野 ひよ(都合)
 小笠原フミ(都合) 石井 京子(都合)
 鹿野 京子(都合)

住所不明者

小笠原弘美 葦山 栄子(熊谷) 武田 強
 佐藤賢四郎 野呂 行雄 簾内 豊勝
 仲谷 国男 藤田 敏 簾内 若子
 成田 寛 三浦 キサ(木村)

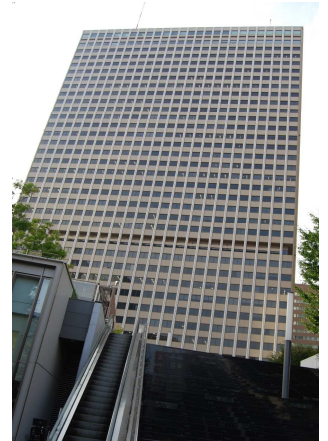
《順不同敬称略》

亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。(合掌)

住所不明となられてる方々については皆様からの情報をお寄せ下さるようお願いいたします。



仲村あけみさん



霞ヶ関ビル



簾内正子さんと戸澤元継さん(伯母・甥)

七座のあれこれ

平成26年産米美味しい「あきたこまち」コンテスト
 受賞報告会



最優秀賞を獲得した野呂さん④と優良賞の小笠原さん⑤、佐藤組合長(JA鷹巣町本店)

◆あきたこまちコンテストで北秋田市の野呂さん日本一、小笠原さんは優良賞【H26.12.3】

あきたこまちの誕生30周年を記念してJAグループ秋田が実施した「美味しい「あきたこまち」コンテスト」で、北秋田市前山の野呂義久さん(52)が生産したコメが最優秀賞の県知事賞に選ばれた。専業農家になって3年目の野呂さんは、稲作の原点に立ち返り水管理などの基本を徹底したコメ作りを展開し、「日本一おいしいあきたこまち」の称号を獲得。「よりおいしいコメを作れるよう、これからも日々努力したい」と話していた。県産米の主力品種で全国的なブランド米となっている「あきたこまち」の誕生30周年を契機に、さらなる良食味米の生産に向けた取り組みを促進させることが狙い。県内JAの推薦で出品された62点を対象に実施した。農業試験場研究員らによる玄米の品質や食味評価を基に31点を選出、2次審査では白米の品質と食味評価に加え機械によるタンパク質の分析などで13点を選んだ。最終審査では外部機関による食味官能試験を参考に試食を行い、最優秀賞1点と優秀賞4点、優良賞7点を決めた。JA鷹巣町管内からは4点がエントリーし、野呂さんが最優秀賞に選ばれたほか、小笠原正耕さん(59)＝前山＝が優良賞を受賞した。3日にJA鷹巣町本店で受賞報告が行われ、佐藤清孝組合長は「あきたこまち30周年の節目にすばらしい快挙。食味は県産米と言われてきたこれまでの評価を覆すもので、北秋田のコメの評価を高めてくれる。地道に研究を重ねてきた成果」などによろこんだ。野呂さんは「徹底した水の管理などコメ作りの基本を行ったのが良かったのかと思う。最高賞に選ばれるとは信じられない。指導してくれたJAなどに感謝したい」と述べ、「これからもおいしいコメが作れるよう努力を続けたい」と意気込みをみせた。優良賞の小笠原さんは「管理徹底などを図り、さらに上を目指したい」と話した。最優秀賞の野呂さんと優秀賞4点のあきたこまちは「プレミアムファイブ」の名称で来年1月から東京の三越デパート日本橋本店や県内スーパーで販売される予定。



簾内キミ工さんと松谷菊加さん

《後記》野呂義久さんは伊勢堂旧国道入口左側の「ギエ」の家です。また、小笠原正耕さんは会館入口左側の「シルシ」の家です。前山出身者でしたら、ご存知でしょう。七座にも、おいしいお米があります。食べてみたいものです。なお、この記事は北鹿新聞で見つけました。(熊谷忠憲)